

# 穂高岳登山説明会

## 平成24年度 第12回 奥穂高岳登山



### 目的地

奥穂高岳  
(3190m)

### 宿泊地

涸沢ヒュッテ  
(2350m)

期 日 平成24年7月23日(月)～25日(水)

## 登山の目的

- (1) ふるさと安曇の宝、北アルプスの最高峰を目指し、郷土を愛する心を育てる。
- (2) 集団行動の体験を通して、ルールや登山のマナーを学び、友情や助け合いの精神を育む。
- (3) 山小屋や山岳パトロール、遭難救助など、過酷な条件下で職務に従事している人々と擦り、職業学習の一環とする。
- (4) 美しく、広々とした大自然に接し、自然に対する畏敬の念を感じると共に、自然愛護の気持ちを育て高山地帯の様子や動植物について学ぶ。
- (5) 登山によって、困難に耐える精神力をやしなひ、身体を鍛える。

## 安曇の山々

長野県3000m級の山16峰(全国一)うち9峰が安曇に!

奥穂高岳(3190m)	槍ヶ岳(3180m)	涸沢岳(3110m)
北穂高岳(3106m)	大喰岳(3101m)	前穂高岳(3090m)
中岳(3084m)	南岳(3032m)	乗鞍岳(3026m)

## 行程概要

3日目のコースは、2日目の登頂実施と天候で①②を判断します。

【1日目】安曇支所発…上高地発…横尾(昼食)…涸沢ヒュッテ着
6:00 7:30 10:30 14:30
【2日目】涸沢ヒュッテ発…白出のコル…奥穂高岳山頂(昼食)…白出のコル…涸沢ヒュッテ着
6:00 8:30 9:30 11:30 13:10
【3日目】①涸沢ヒュッテ発…横尾着…徳沢園(昼食)…上高地着…安曇中学校着
7:00 10:00 11:00 13:00 14:40
②涸沢ヒュッテ発…パノラマコース(昼食)…上高地着…安曇中学校着
6:00 11:00 15:00 16:40

## ルート



## 上高地を出発



バスターミナルから河童橋を左手に見ながら、梓川の上流に向かって右側を直進し、明神館方面に歩きます。明神館からは、橋の右、明神館の食堂の右側にある登山口から直進します。少し行くと、右側に、徳本峠(とくもとせうげ)への登山口があります。徳本峠は、栗トンネルを通るバス道がなかった時代の上高地への入り口です。

上高地を世界に紹介したウェストンや、芥川龍之介、高村光太郎も、この峠を越えたわけですが、毎年行われるウェストン祭では、ここを越えて上高地に入ります。少々疲れた歩道を1時間ほど歩くと徳沢に着きます。

## 徳沢～横尾～本谷橋(2時間)

徳沢のテント場と山小屋を過ぎてさらに歩道を進むと、次の中継点の横尾に行けます。左側に、時々、梓川の上流が見えます。河童橋のあたりよりも幅は狭いが、やはり美しい流れです。横尾までのコースは、槍ヶ岳などへの登山コースでもあるので、登山シーズンは混み合います。45分ほどで横尾山荘が見えて来ます。横尾から直進する槍ヶ岳への登山客と別れ、左の横尾橋を渡ります。リッパな橋ですが、少々揺れます。渡ると、川原の道のため、石が多くなります。



## 横尾山荘

にぎわう河童橋をあとに、のんびり歩いて3時間。奥上高地・横尾山荘は、槍ヶ岳や穂高岳、穂ヶ岳～茶臼岳などの登山基地として、また「お風呂のある山小屋」として親しまれています。2008年にリニューアルした快適な客室棟で、素晴らしい山の休日をお楽しみください。

横尾山荘は…

■2時間自家発電で営業しています。

■石鹸・シャンプーはご利用いただけません。



槍ヶ岳

## 横尾大橋



立派な**横尾大橋**を渡って梓川の対岸に出、横尾までは渡って**本谷橋**な登山道までとなります。河原から樹林帯の岩交りの急坂を登って水平道になると、崩上に迫る**屏風岩**を見上げながらのゆるやかな山道が続きます。

巨大な**屏風岩**をぐるりと回りこんだ後、足元の**本谷**に下りて行き、**簡易な本谷橋**で対岸へ渡ります。明るく開けた本谷橋は通沢への中間点、休憩によいところです。上方に見上げる峻険は北穂高岳ではなく南岳、大キレットの下にあたる本谷と分かれて、支線の通沢沿いにさかのぼります。



## 屏風岩・本谷橋



少し行くと、今まで平坦な道が急に登りになります。立ち枯れた木が目立つ林の中のコースを少し行くと、標高差が何と1,000mの絶壁で、ロッククライミングの名所、**屏風岩**が左手に見えて来ます。屏風岩を横目に見ながらがんばって登ると、つり橋の**本谷橋**が見えて来ます。



## 涸沢ヒュッテ

### 基本情報

標高：2309m  
【連絡先】090-9002-2534  
【電話】  
ドコモ：可  
au：不可  
ソフトバンク：不可  
公衆電話：なし

### テント場

500個、500円/人、ベグX  
**山小屋**  
200人 1泊2食 9000円  
**トイレ**  
涸沢ヒュッテのトイレ、100円  
**水場**  
涸沢ヒュッテの水場



1951年(昭和26年)に山岳書を刊行していた朋文堂によって小屋を完成させたが雪崩で2度焼失しており、1953年(昭和28年)の3度目に建てられたのが現在の本館である。

各季小屋を持つ近隣の涸沢小屋と異なり、涸沢ヒュッテの建つ地は雪崩が多いため各季は完全に閉鎖している。



## 2日目 奥穂高岳山頂に向けて出発

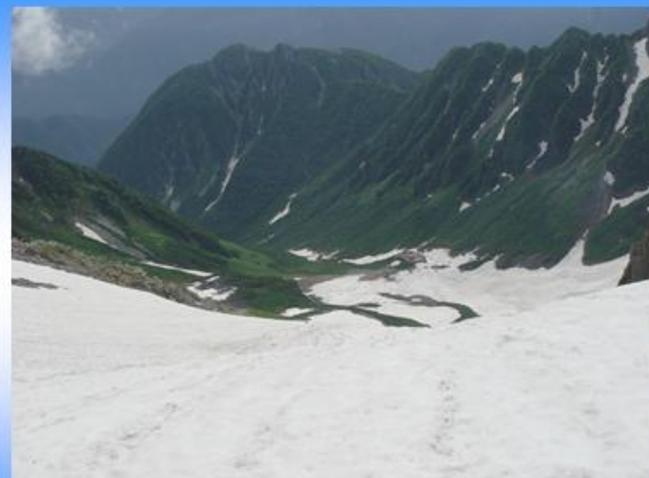


## ザイテングラード

涸沢から奥穂高岳へは涸沢小屋の左脇を通るルートと涸沢カールを横切る涸沢パラマコースがあり、直ぐに上部で合流します。



涸沢小屋を通りザイテングラードに向かいます。



涸沢ヒュッテを振り返る。奥には「屏風の頭」が見えています。



正面の岩壁がガイテングラートの中で唯一梯子と鎖が設置されている場所です。



前穂高岳北尾根

### テント場(溜沢岳)側からの眺め



奥穂高岳山荘から奥穂高岳山頂を仰ぎ見ます

### 白出沢側に落ちている反対側の斜面



発電用の風車が見える

### 山荘を背に梯子をのぼる



### 山頂へ！



### 山頂からの景色



梓川の流れ横尾・徳沢まで見渡せます。

# 登山に向けて

## 心の準備

- ・ゆずり合い
- ・励まし合い
- ・助け合い

## 体力づくり

- ・今から徐々に！
- ・できることは...

